

令和2年度

研修講座開催要項



「 気軽・充実・役立つ 」

- ◇演習を取り入れた参加型の研修
- ◇ワークショップ型の研究協議
- ◇小中連携の研修内容

後志教育研修センター

〒044-0013 北海道虻田郡倶知安町南3条東4丁目

TEL 0136-22-1337 FAX 0136-22-2681

E-mail skc@cocoa.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.shiribeshi-etc.jp/>

□表紙の写真について（令和元年度研修講座）

左上：『教学半』をバックに書写実技研修講座（6月19日、後志教育研修センター）
講師 丸岡哲也 校長（寿都小）、惣万大輝 教諭（京極中）

右上：熱心に研究協議をする幼保小連携研修講座（8月6日、後志教育研修センター）
講師 西谷句子 教諭（北辰小）、菅原陽子 教諭（中央幼児センター）

左下：受講者全員で心をひとつに音楽科研修講座（7月8日、余市町立黒川小学校）
講師 長峯真由美 教諭（蘭越中）、鎌田新平 教諭（黒川小）

『 気軽・充実・役立つ 』

後志教育研修センターは後志管内20市町村が管内の教職員、社会教育担当者等の資質・能力の向上を目指した研修講座事業等を協働で実施することを目的として設置されたものであります。昭和50年に発足し、令和2年度で設立45年目を迎えます。この度は、北海道教育庁後志教育局をはじめ、各市町村教育委員会、各教育関係機関や研究団体のご支援とご協力により、本年度の講座開講の体制を整えることができました。

本年度の研修事業は日常実践に役立つ研修センターを標榜し、次代を担う子どもたちが未来社会を切り拓くことができるように、学校現場との連携を一層密にした授業改善を促す研修講座となるよう策定しました。全ての講座の中で、本年度より全面実施される新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」のもと、改訂の大きなテーマである「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。具体的には「何を知っているか」から「どのように問題解決を成し遂げていくか」を支える資質・能力を育成する学びの質的転換を目指した講座内容となるよう努めてまいります。

昨年度の研修講座を振り返りますと、受講者の姿勢が非常に前向きであり、参加して勉強になったという声が数多くあり、教職員の研修に対する意識の高まりが強く感じられました。特に、注目したいのは、「研修報告を書き、全職員に還元していく」「新しい人間関係ができた。人脈は財産」「本当に困ったことを聞くことができた」「勇気が湧いてきて、明日からの意欲が出てきた」という声でした。結果的に受講率が管内教職員全体の凡そ55%になりました。

本年度の研修講座に向けて開催された1月末の講師団会議では、『教学半』と『子ども心の扉は内側に鍵がある』という2つのお話しをしました。講師陣の真剣な眼差しがとても印象的で、新年度の研修講座は質の高さが期待できると実感しました。本年度の研修講座の特徴を幾つか挙げてみます。

1. 「気軽に参加できる研修講座」

外部講師による公開講義や学校での授業公開を多くし、気軽にそのコマだけ受講できるよう工夫をしました。

2. 「充実感を味わえる研修講座」

昨年度から演習を取り入れた参加型の研修やワークショップ型研究協議の工夫をしていますが、本年度は更に「小中連携」についての研修内容を盛り込みました。

最後になりますが、講師陣の皆様には、今日的な課題を解決すべく、日常の授業実践に生かしていくことのできる事例を周到に準備していただいたことに深く感謝申し上げます。センター職員一同、本年度もより多くの教育関係者の皆様が受講されるのをお待ちしております。

令和2年4月

後志教育研修センター
所長 長谷川 誠

研修講座の受講手続要領

【受講申込と決定】 受講の申込とその決定は下記のようになります。期日が短くて申し訳ありませんが、ご協力をよろしくお願いします。

◆ 先生方は
4月16日（木）までに

- 受講希望講座を選んで、講座名を学校長に申し出てください。
- 講師の方も必ず申し込んでください。(名前の前に◎をつけてください。)

◆ 各学校長は
4月20日（月）までに

- 自校の受講希望者を取りまとめ、P39・40の様式1にて所属教育委員会に報告してください。(様式1はHPからダウンロードできます。)

◆ 各教育委員会は
4月23日（木）までに

- 各学校からの受講希望者を取りまとめ、研修センターより送付した開催要項P39・40の様式1にて報告してください。(可能な限り、メールでお願いします。)
- 様式1に収まらない場合は、複数枚使用してください。

◇ 研修センターは
5月8日（金）までに

- 各教育委員会に「受講者決定通知書」を送付致します。

◇ 各教育委員会は
5月12日（火）までに

- 各学校長に受講者の決定通知を出してください。

◇ 各学校長は
5月14日（木）までに

- 受講希望者に受講決定の旨を通知してください。

①全講座の受講者数の概数を把握する関係で、4月20日(月)までに一度、受講申込書を学校から提出してもらいますが、各講座開催日の一週間前であれば、随時申込みが可能です。

・年度途中の申込みも、P39・40の様式1を必ず当該教育委員会へ提出して下さい。

②半日日程（1日日程の場合）や1日日程（2日日程の場合）での申込み、また公開講義のみの受講も可能です。

③諸事情により講座の日程等を変更する場合がありますので予めご了承ください。変更の場合は随時ご連絡致します。

【取り消し、変更時のお願い】

※やむを得ない事情で受講を取り消す場合や講座の一部の日程にのみ受講する場合は生じた時は、所属長に申し出、必ず所属教育委員会を通じて連絡をお願いいたします。

目次

はじめに

研修講座の受講手続要領

| | ページ |
|---------------------|-----|
| 令和2年度後志教育研修センター事業計画 | 1 |
| 令和2年度研修講座の特徴 | 3 |
| 研修講座受講計画 | 5 |
| 研修講座開講スケジュール | 6 |
| 研修講座開講一覧 | 7 |
| 各研修講座の要項 | |

| | ページ | ページ | |
|-------------------|-----|-----------------|----|
| ① 学校経営Ⅰ（校長） | 9 | ⑩ 英語科 | 24 |
| ② 学校経営Ⅱ（教頭） | 10 | ⑪ 外国語・外国語活動（初級） | 25 |
| ③ 教職員の加付研修・マネジメント | 11 | ⑫ 外国語・外国語活動（中級） | 26 |
| ④ 学級経営（基礎） | 12 | ⑬ 道徳科 | 27 |
| ⑤ 学級経営（応用） | 13 | ⑭ 音楽科 | 28 |
| ⑥ 校内研修 | 14 | ⑮ 保健体育科 | 29 |
| ⑦ 特別支援教育 | 15 | ⑯ ICT | 30 |
| ⑧ 幼保小の連携 | 16 | ⑰ 学校保健 | 31 |
| ⑨ 学校と地域をつなぐ社会教育 | 17 | ⑱ 学校事務 | 32 |
| ⑩ 学習指導（授業づくり） | 18 | ⑲ へき地・複式教育 | 33 |
| ⑪ 学習指導（授業改善） | 19 | ⑳ 食育 | 34 |
| ⑫ 国語科 | 20 | ㉑ 書写実技 | 35 |
| ⑬ 社会科 | 21 | ㉒ 読書活動 | 36 |
| ⑭ 算数・数学科 | 22 | ㉓ ものづくり | 37 |
| ⑮ 理科 | 23 | ㉔ 生活科・総合的な学習の時間 | 38 |

研修講座受講申込書 様式1

39～40

令和2年度研修講座講師

41

研修センターからのお知らせ

令和2年度 後志教育研修センター事業計画

I 運営の基本方針

1 目的

後志教育研修センターは、後志管内20市町村が管内教職員並びに社会教育指導者等の資質・能力の育成に役立つ研修講座事業と管内教育の充実・振興に必要な調査研究事業を協働で実施することを目的とする。

2 運営の方針

- (1) 実践に生きる研修講座事業の改善・充実に努め、指導力の向上を図る。
- (2) 教育課題の解決を目指す調査研究事業に努め、その成果を提供する。
- (3) 教育情報の収集・提供に努め、情報のセンター的役割を果たす。

3 運営の重点

- (1) 次代を担う子供たちの将来を見据え、中央の教育動向や教職員等のニーズを的確に捉え、それらに答え得る研修講座を設定し、受講者の実践力向上と学校力向上に努める。
- (2) 今日の教育課題の解明を図る調査研究事業を推進し、実践に生きる研究資料を提供するとともに、検証授業等を通して個々の資質・能力の向上と学校力向上に努める。
- (3) 中央の動向に注視し、管内各町村の研究集録等の収集を図り、教育情報のセンター的役割を担い、各学校に必要な研究資料を提供できるように努める。
- (4) 管内小中学校及び教育機関団体と緊密な連携を図り、管内教育の向上に努める。

II 研修事業・調査研究事業

1 研修講座事業

(1) 研修講座開設の趣旨

今日、情報化社会に向けてデジタル化とグローバル化など、社会の変化が大きく進展している。次代を担う子どもが感性を豊かに働かせながらより良い人生を築いていくために、自ら学び、自ら考えることに加え、他者と共生・協働し、知恵を持ち寄り、未来を切り拓く力が強く必要とされている。そのためには、学校・家庭・地域など社会総ぐるみで連携・協働しながら、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組が重要となってきた。

各学校においては確かな学力、健やかな体、豊かな心を総合的にとらえて子どもの生きる力を育み、地域に対し信頼される学校づくりを進めることがこれまで以上に求められている。とりわけ、小規模校が半数を占める北海道・後志の地域性やベテラン教職員の大量退職とそれに伴う新採用教職員の大量採用という時代の流れから、当研修センターの研修講座事業は人材育成という観点から重要な役割を担っている。

学校教育講座においては、これらに答える学校・学級経営や教科指導、特別支援教育の在り方を中心とした講座を設定し、教職員一人一人が専門職として、自ら高い専門性と実践的な指導力を身に付けるよう教師力の向上を図る。また、社会教育と幼児教育各講座においては、今日的課題を明確にしながら関係機関のニーズに合った講座を開設し、社会教育担当者と幼児教育担当者の資質・能力の向上と実践的な指導力の向上を図る。

(2) 講座内容

- ① これまで実施してきた講座の内容を継続・発展しつつ、今日的課題の解明を図るものとする。
- ② 各教科の講座においては新学習指導要領の趣旨や方向性についてより理解を深め、「主体的・対話的で深い学び」について浸透させていくものとする。
- ③ 受講者に対しては今後の研修の在り方を見通すことができるよう教職員のキャリアステージに応じた受講計画一覧を配布する。
- ④ 本年度の研修内容については、特に次の3点について留意する。
 - 1 演習を取り入れた参加型の研修とする。
 - 2 ワークショップ型の研究協議を取り入れ、少人数で充実した交流を図る。
 - 3 研究協議の中に小中学校の連携の内容を盛り込む。
- ⑤ 具体的な研修講座は、次のようにする。
 - 1 学習指導講座は基礎編（授業づくり）と応用編（授業改善）の2講座とし、調査研究との関わりから講師はセンター所員が行う。
 - 2 学級経営講座は基礎編（学級づくりと話し合い活動）と応用編（教育相談と生徒指導の充実）の2講座をそれぞれ1日日程で行う。
 - 3 外国語・外国語活動研修講座は初級編（基本的な授業づくり）、中級編（実践的クラスルームイングリッシュ）の2講座をそれぞれ1日日程で行う。

- 4 教職員のカリキュラム・マネジメント講座、幼保小の連携講座、学校と地域をつなぐ社会教育講座、へき地・複式教育講座は一般教諭に加え、管理職の受講も促していく。
- 5 幼保小の連携講座はそれぞれの連携を主眼としながら、受講者はそれぞれの校種から募集を行い、講師も各校種から選定していく。
- 6 ものづくり講座及び家庭科講座、図工・美術科講座及び生活科・総合的な学習の時間講座は、隔年での開催とする。
- 7 食育講座は食に関する指導の充実を図り、管内における食育の活性化を図る。また、栄養教諭の参加に加え、一般教諭の参加も促していく。
- 8 ICT 研修講座（旧情報機器講座）の研修内容にプログラミング教育の内容を盛り込む。

(3) 講師

- ① 講師は管内教職員から要請し、所員会議及び学校や教育関係機関団体等から広く意見を聴き、決定していく。
- ② 校内研修と学習指導講座の講師については、研修講座と調査研究の連携を図るため、センター所員が担当する。
- ③ 実践と授業づくりの講座は、新学習指導要領の趣旨や方向性について理解を深めるため、北海道教育庁後志教育局と積極的に連携を図っていく。
- ④ 外部講師は可能な限り多く配置し、講座の充実を図る。また、北海道立教育研究所、北海道立教育研究所附属理科教育センター、北海道立特別支援教育センター等を積極的に活用していく。
- ⑤ 外部講師による講義は公開講義として設定し、講座受講者に加えて広く教職員や教育関係者に公開をしていく。

2 調査研究事業

(1) 学習指導に関する調査研究

- ① 研究主題 『授業力の向上と校内研究の活性化 ～学びに向かう力の育成を通して～』
(3年次研究の1年目)
- ② 研究内容 具体的には研究委員会開催後に決定
- ③ 研究委員会 12回程度予定 (検証授業3回)

(2) 社会教育に関する調査研究

- ① 研究主題 『地域づくりの担い手育成に向けた行政と住民の連携・協働 ～新しい副題～』
(4年次研究の2年目)
- ② 研究内容 具体的には研究委員会開催後に決定
- ③ 研究委員会 6回程度予定

(3) 調査研究事業報告会

- ① 目的 後志教育研修センターで行われている調査研究事業が後志管内の教育向上に寄与するため、報告会を通してその成果を管内に広める。
- ② 日時 令和3年1月8日(金) 予定
- ③ 会場 後志教育研修センター 第1研修室
- ④ 参加者 管内教職員、社会教育指導者、教育関係者、センター所員
- ⑤ 内容 学習指導・社会教育に関する調査研究事業の概要報告

3 センター事業

(1) 第53回後志管内教職員夏季研修会(後志教育講演会)

- ① 目的 管内教職員及び地域住民が参加する講演会を実施し、教職員の資質・能力育成と地域住民の教育力の向上を図り、後志教育の一層の充実、発展を目指す。
- ② 期日 令和2年8月4日(火) 13:30～15:30
- ③ 会場 倶知安町第一会館
- ④ 講師 高橋義男氏(とまこまい脳神経外科 副院長兼小児脳神経外科部長)
- ⑤ 演題 「渡る世間は嘘ばかり…思考停止の世の中でどんどん増える発達障害, ストレス障害, 認知症…6歳までが大事、思い込みの阻止とどう対応するか!」
- ⑥ その他 互助会の補助事業

4 北海道教育研究所連盟研究発表大会(後志大会)の準備

- ① 目的 令和3年度に第76回北海道教育研究所連盟研究発表大会が後志を会場に開催される。平成21年度以来の開催となるので、研修部長を中心に今年度より準備を進めて行く。
- ② 期日 令和3年8月26日(木)～8月27日(金) 予定
- ③ 会場 倶知安町第一会館

令和2年度研修講座の特徴

令和2年度の研修講座では、新学習指導要領の全面実施に伴い、趣旨や方向性について理解を深める時間を設け、今求められている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、日々の実践に役立つように講座が組み立てられています。

- (1) 「学級経営」講座は基礎編（学級づくりと話し合い活動）と応用編（教育相談と生徒指導の充実）に分け、各々1日日程で開催します。
- (2) 「外国語・外国語活動」講座は初級編（基本的な授業づくり）と中級編（実践的クラスルームイングリッシュ）に分け、各々1日日程で開催します。
- (3) 研修では演習を取り入れた参加型の研修、ワークショップ型研究協議、今年度新しく小中連携の研修内容を積極的に取り入れる工夫をしました。
- (4) 受講者が気軽に参加できるように、半日日程（1日日程の場合）や1日日程（2日日程の場合）での申込みやまた公開講義のみの受講も可能としました。

外部講師による公開講義のご案内

（公開講義のみの受講が可能）

| 講座名 | 日時・会場 | 講義内容 | 講師 |
|---------------|--|--|---|
| 学校経営Ⅰ （校長） | 7月15日（水） 10:40～11:50 後志教育研修センター | 講義 社会の変化に対応する学校経営の在り方 | 北海道教育庁後志教育局 義務教育指導監 |
| 学校経営Ⅱ （教頭） | 8月5日（水） 10:40～11:50 倶知安町文化福祉センター | 講義 新学習指導要領実施における新たな学校づくりと教頭の役割 | 北海道教育庁後志教育局 義務教育指導班 主査 |
| 特別支援教育 | 7月17日（金） 10:30～11:50 後志教育研修センター | 講義 特別支援教育におけるICTの活用 | 石狩市立花川小学校 教諭 高橋 健 氏 |
| 幼保小の連携 | 7月31日（金） 14:10～15:45 後志教育研修センター | 講義 のびのびと集団生活・社会生活を送るために | 医療法人社団 一視同仁会 札幌・すがた医院 作業療法士 中黒 麗子 氏 |
| 学校と地域をつなぐ社会教育 | 6月30日（火） 13:40～15:15 後志教育研修センター | 講義・演習 子どもたちの自己肯定感を高めるには | 北海道立生涯学習センター職員 |
| 国語科（1） | 9月4日（金） 10:40～11:30 後志教育研修センター | 講義1 新学習指導要領における国語科の趣旨と方向性について | 北海道教育庁後志教育局 義務教育指導班 指導主事 |
| 国語科（2） | 11月9日（月） 15:10～16:40 小樽市立潮見台小学校 | 講義2〈講演〉 「主体的・対話的で深い学びを実現する国語科の授業づくり」（仮題） | 京都女子大学 発達教育学部教育学科 教授 水戸部 修治氏 |
| 社会科 | 8月25日（火） 10:30～11:50 後志教育研修センター | 講義 新学習指導要領における社会科の趣旨と方向性について | 北海道教育庁後志教育局 義務教育指導班 指導主事 |
| 理科 | 8月24日（月） 12:50～15:45 後志教育研修センター | 演習 授業や科学クラブ等で使える実験 | 北海道立教育研究所附属理科教育センター 研究研修主事 |

| 講座名 | 日時・会場 | 講義内容 | 講師 |
|---------------|--|--|--------------------------------------|
| 英語科 | 6月 9日 (火) 10:40～11:50 後志教育研修センター | 講義 新学習指導要領における英語科の趣旨と方向性について | 北海道教育庁後志教育局 義務教育指導班 指導主事 |
| 外国語・外国語活動(初級) | 9月 1日 (火) 10:40～11:50 黒松内町立黒松内小学校 | 講義 新学習指導要領における外国語科・外国語活動の指導の重点及び評価の在り方 | 北海道教育庁後志教育局 義務教育指導班 指導主事 |
| 外国語・外国語活動(中級) | 6月19日 (金) 10:40～11:30 古平町立古平小学校 | 講義 新学習指導要領における外国語科の小中連携の在り方 | 北海道教育庁後志教育局 義務教育指導班 指導主事 |
| 学校保健 | 7月13日 (月) 14:00～15:45 後志教育研修センター | 講演 「おもちゃを通して子どもたちについて考える」 (仮題) | 小樽市ハンズオントリー キンダーリープ 店長 杉本 英樹 氏 |
| 食育 | 7月29日 (水) 10:40～11:50 共和町立学校給食センター | 実習 スチームコンベクションを使用した献立について | ニチワ電機札幌営業所 所長 遠藤 晋一郎 氏 |
| 生活科・総合的な学習の時間 | 7月29日 (水) 10:40～11:50 後志教育研修センター | 講義 新学習指導要領における生活科・総合的な学習の時間の趣旨と方向性について | 北海道教育庁後志教育局 義務教育指導班 指導主事 |

※公開講義のみ受講希望される方は、一般の講座と同様に申込書(様式1)の「公開講義欄」にご記入ください。

ミニ道研のご案内

(道研所員による研修)

| 講座名 | 日時・会場 | 講義内容 | 講師 |
|-----------------------|--|---|---|
| ミニ道研 | ◎7月28日(火) ブロック開催 10:00～15:30 後志教育局 | ①授業づくりの基礎(指導方法、評価等)〈午前〉 ②生徒指導の機能を生かした学級経営 〈午後〉 | 北海道立教育研究所 所員 ○道研と2会場を接続する 遠隔研修 |
| 「管内研修センター等連携」 研修講座 | ◎9月25日(金) 単独開催 10:00～15:30 後志教育研修センター | ①教育相談を生かした児童生徒理解・保護者との協働 〈午前〉 ②小・中学校におけるプログラミング教育 〈午後〉 | 北海道立教育研究所 所員 ○道研所員による対面研修 |

※ミニ道研の受講申込は申込書(様式1)の「ミニ道研欄」にご記入下さい。なお、ミニ道研に係る受講旅費は道費支弁となります。

※主に経験の浅い教諭が対象となりますが、この枠にとらわれず、どなたでも受講できます。

研修講座受講計画

このページでは、当研修センターが受講者の実践力向上や学校力向上に寄与できるよう、ライフステージ及びキャリアステージと開設講座の相関がわかるようになっています。表を参考に、自己研鑽のために必要な講座を選んでいただければ幸いです。また、ご自身の今後の研修の在り方をデザインする際にもご活用ください。
 なお、あくまでも目安ですので、経験年数等が当てはまらなければ受講できないということではありません。

| 開設講座 | 教職員のキャリアステージ・ライフステージ | | |
|-------------|--------------------------------|---|-------------------------------------|
| | ステージⅠ 初任段階層 | ステージⅡ 分掌チーフ・ミドルリーダー層 | ステージⅢ リーダー層 |
| | 対象：1～5年程度 実践力をみがき、教職の基礎を固める | 対象：5～15年程度 専門性を高め、グループのリーダーとして推進力を発揮する | 対象：15年～ 豊富な経験を生かし、広い視野で組織的な運営を行う |
| 学校・学級づくりの講座 | | | ①学校経営Ⅰ（校長） |
| | | | ②学校経営Ⅱ（教頭） |
| | | ③教職員のカリキュラム・マネジメント | |
| | | ④学級経営（基礎） | |
| | | ⑤学級経営（応用） | |
| | | | ⑥校内研修 |
| | | ⑦特別支援教育 | |
| | | | ⑧幼保小の連携 |
| | | | ⑨学校と地域をつなぐ社会教育 |
| 実践と授業づくりの講座 | ⑩学習指導（授業づくり） | | |
| | | ⑪学習指導（授業改善） | |
| | | ⑫国語科 | |
| | | ⑬社会科 | |
| | | ⑭算数・数学科 | |
| | | ⑮理科 | |
| | | ⑯英語科 | |
| | | ⑰外国語・外国語活動（初級） | |
| | ⑱外国語・外国語活動（中級） | | |
| 高め導る実技を | | ⑲道徳科 | |
| | | ⑳音楽科 | |
| | | ㉑保健体育科 | |
| 高める専門性を | | ㉒ICT | |
| | | ㉓学校保健 | |
| | | ㉔学校事務 | |
| | | ㉕へき地・複式教育 | |
| | | ㉖食育 | |
| 催隔講座開 | | ㉗書写実技 | |
| | | ㉘読書活動 | |
| | | ㉙ものづくり（家庭科） | |
| | ㉚生活科・総合的な学習の時間（図工・美術科） | | |

※講座の付番は講座番号です。

研修講座開講一覽

| I 学校・学級づくりの講座 | | | | | | | |
|---------------|----------------------|----------------------------|---|-------------------------|------|------|-------|
| No. | 研修講座名 | 対象 | 講師 | 期 日 | 公開講義 | 授業公開 | 掲載ページ |
| ① | 学校経営Ⅰ（校長） | 小中学校 校長 | 藪 智樹（岩内第二中） 大坂 充（稲穂小） | 7月15日（水） | ○ | — | 9 |
| ② | 学校経営Ⅱ（教頭） | 小中学校 教頭 | 久米 達夫（古平中） 植松 真将（手宮中央小） | 8月5日（水） 俱知安町文化福祉センター | ○ | — | 10 |
| ③ | 教職員のキャリア ム・マネジメント | 小中学校教職員 | 高橋 健悟（俱知安小） 村上 慎司（西中） 山田 晃弘（稲穂小） | 7月10日（金） | — | — | 11 |
| ④ | 学級経営（基礎） | 小中学校教職員 | 松本 浩文（俱知安中） 熊谷 結香（神恵内小） | 9月15日（火） 神恵内小学校 | — | ○ | 12 |
| ⑤ | 学級経営（応用） | 小中学校教職員 | 藤島 徹哉（東中） 浅井 貴広（蘭越小） | 9月8日（火） | — | — | 13 |
| ⑥ | 校 内 研 修 | 小中学校教職員 | センター所員 | 6月10日（水） | — | — | 14 |
| ⑦ | 特 別 支 援 教 育 | 小中学校教職員 | 田村 裕子（岩内西小） 中川 綾子（銀山中） 織田 美香（西小樺山分校） | 6月17日（水） 7月17日（金） | ○ | — | 15 |
| ⑧ | 幼 保 小 の 連 携 | 幼稚園教職員 保育所保育士 小学校教職員 | 芳川 美知代（岩内西小） 西岡 知洋（北海道キリスト教 学園 リタ幼稚園） | 7月31日（金） | ○ | — | 16 |
| ⑨ | 学校と地域をつなぐ 社 会 教 育 | 小中学校教職員 市町村教育委員会職員 | センター所員 | 6月30日（火） | ○ | — | 17 |

| II 実践と授業づくりの講座 | | | | | | | |
|----------------|--------------------|---------|---|--|----------|----------|-------|
| No. | 研修講座名 | 対象 | 講師 | 期 日 | 公開講義 | 授業公開 | 掲載ページ |
| ⑩ | 学習指導（授業づくり） | 小中学校教職員 | センター所員 | 6月16日（火） | — | ○ | 18 |
| ⑪ | 学習指導（授業改善） | 小中学校教職員 | センター所員 | 9月2日（水） | — | ○ | 19 |
| ⑫ | 国 語 科 | 小中学校教職員 | 原田美穂子（留寿都中） 田中あけみ（潮見台小） 中軽米真智子（日司小） | 9月4日（金） 11月9日（月） 潮見台小学校 | ○ (2) | ○ | 20 |
| ⑬ | 社 会 科 | 小中学校教職員 | 宇野 嘉純（長橋小） 高橋 大樹（御保内小） 小山 正博（俱知安中） | 7月1日（水） 俱知安中学校 8月25日（火） | ○ | ○ | 21 |
| ⑭ | 算 数 ・ 数 学 科 | 小中学校教職員 | 菊地 勇人（京極中） 新川 志帆（都小） 佐藤 充（銭函小） | 5月20日（水） 銭函小学校 8月31日（月） 京極中学校 | — | ○ (2) | 22 |
| ⑮ | 理 科 | 小中学校教職員 | 柴田 倫克（西小） 志村 勝（神恵内中） 川向 俊之（長橋中） | 7月8日（水） 神恵内中学校 8月24日（月） | ○ | ○ | 23 |
| ⑯ | 英 語 科 | 小中学校教職員 | 小林 民治（仁木中） 鈴木 梨沙（岩内第一中） 山崎 史朗（菁園中） | 6月9日（火） 10月13日（火） 岩内第一中学校 | ○ | ○ | 24 |
| ⑰ | 外国語・外国語活動 （初 級） | 小中学校教職員 | 山田 徹（黒松内小） 菊地 洋平（蘭越中） | 9月1日（火） 黒松内小学校 | ○ | ○ | 25 |
| ⑱ | 外国語・外国語活動 （中 級） | 小中学校教職員 | 秋田 匡（古平小） 村上 慈（美国中） | 6月19日（金） 古平小学校 | ○ | ○ | 26 |
| ⑲ | 道 徳 科 | 小中学校教職員 | 齋藤 直哉（朝里小） 野口 貴史（野塚小） 山本 啓太（岩内第一中） | 9月7日（月） 岩内第一中学校 | — | ○ | 27 |

| Ⅲ 指導実技を高める講座 | | | | | | | | |
|--------------|-------|---------|--|-------------------|------|------|-------|--|
| No. | 研修講座名 | 対象 | 講師 | 期 日 | 公開講義 | 授業公開 | 掲載ページ | |
| ⑳ | 音楽科 | 小中学校教職員 | 白井 尚史 (東中) 佐々木いづみ (京極小) | 7月6日(月) 京極小学校 | — | ○ | 28 | |
| ㉑ | 保健体育科 | 小中学校教職員 | 柴田 寛士 (桜町中) 小原 いつか (赤井川小) 齋藤 一真 (倶知安中) | 8月7日(金) 桜町中学校 | — | — | 29 | |
| ㉒ | ICT | 小中学校教職員 | 小西 淳樹 (黒川小) 齋藤 賢一 (沢町小) | 7月30日(木) 沢町小学校 | — | — | 30 | |

| Ⅳ 専門性を高める講座 | | | | | | | | |
|-------------|----------|---------------------------------|--|--------------------------|------|------|-------|--|
| No. | 研修講座名 | 対象 | 講師 | 期 日 | 公開講義 | 授業公開 | 掲載ページ | |
| ㉓ | 学校保健 | 小中学校養護教諭 | 鎌田 由美 (東中) 中村 眞美 (幸小) | 7月13日(月) | ○ | — | 31 | |
| ㉔ | 学校事務 | 小中学校事務職員 | 岩井 健太 (東中) 和田 知也 (京極中) | 5月22日(金) | — | — | 32 | |
| ㉕ | へき地・複式教育 | 小中学校教職員 | 高橋 一弘 (近藤小) 金澤 保弘 (余別小) | 6月23日(火) 近藤小学校 | — | ○ | 33 | |
| ㉖ | 食育 | 小中学校栄養教諭 栄養士 栄養職員 小中学校教職員 | 岩本美奈子 (倶知安小) 中邨 瑛子 (東陽小) | 7月29日(水) 共和町立学校給食センター | ○ | — | 34 | |
| ㉗ | 書写実技 | 小中学校教職員 | 惣万 大輝 (朝里中) 秋元 雪 (花園小) | 8月6日(木) | — | — | 35 | |
| ㉘ | 読書活動 | 小中学校教職員 社会教育担当者 | 松林 純 (西陵小) 高木 妙子 (大川小) 渡邊 雅代 (高島小) | 9月11日(金) | — | — | 36 | |

| Ⅴ 隔年開催講座 | | | | | | | | |
|----------|---------------|--------------------|-----------------------------|------------------|------|------|-------|--|
| No. | 研修講座名 | 対象 | 講師 | 期 日 | 公開講義 | 授業公開 | 掲載ページ | |
| ㉙ | ものづくり | 小中学校教職員 | 小山 正幸 (桜町中) 伊勢 淳佑 (泊中) | 8月18日(火) 泊中学校 | — | — | 37 | |
| ㉚ | 生活科・総合的な学習の時間 | 小中学校教職員 社会教育担当者 | 宮川 脩平 (仁木中) 土岐 龍大 (黒松内小) | 7月29日(水) | ○ | — | 38 | |

※半日日程（1日日程の場合）や1日日程（2日日程の場合）での申込み、また公開講義のみの受講も可能です。

【ミニ道研】（主催：北海道立教育研究所 共催：後志教育研修センター）

| 研修講座名 | 日時・会場 | 講座内容 | 講師 |
|-------------------------------|--|---|---|
| ミニ道研 「管内研修センター等 連携」研修講座 | ◎7月28日(火) ブロック開催 10:00～15:30 会場：後志教育局 | ① 授業づくりの基礎（指導方法、評価等） （午前） ② 生徒指導の機能を生かした学級経営 （午後） | 北海道立教育研究所 所員 ○道研と2会場を接続する 遠隔研修 |
| | ◎9月25日(金) 単独開催 10:00～15:30 会場：後志教育研修センター | ① 教育相談を生かした児童生徒理解・保護者との協働（午前） ② 小・中学校におけるプログラミング教育 （午後） | 北海道立教育研究所 所員 ○道研所員による対面研修 |

※主に経験の浅い教諭が対象となりますが、この枠にとらわれず、どなたでも受講できます。

① 学校経営 I (校長) 研修講座

新たな時代に求められる学校経営を目指して

| | | | | | | | | |
|-------|---|--|--------|------------------------------|---|--------|----------------------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 7月15日 (水) | | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 校長 | | | | | | | |
| 目 的 | 学校経営の充実を目指し、当面する教育課題を的確に把握し、その解決を図り、活力ある学校経営の在り方について研修する。 | | | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター (TEL 0136-22-1337) | | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 社会の変化に対応する学校経営の在り方 【公開講義】 2. 学校組織の活性化と人材育成 【講義1】 3. 小中一貫と小学校教科担任制を見据えた組織マネジメント 【講義2】 4. 研究協議及び交流 【研究協議及び交流】 | | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | |
| | 開 講 式 | 公開講義 社会の変化に 対応する学校 経営の在り方 | 昼 食 | 講義1 学校組織の活性 化と人材育成 | 講義2 小中一貫と小学 校教科担任制を 見据えた組織マ ネジメント | 休 憩 | 研究協議 及び交流 研究協議 及び交流 | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◎ 藪 智樹 (岩内町立岩内第二中学校 校長) 大坂 充 (小樽市立稲穂小学校 校長) ◇外部講師 後志教育局義務教育指導監 | | | | | | | |
| 持参品など | グランドデザインを1部(枚)持参 | | | | | | | |

② 学校経営Ⅱ（教頭） 研修講座

教頭が元気に楽しく学校運営することを目指して

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-----|-------------------------|-----|-------------------------|-----|-----------------------------------|---------|-------------|--|-------|-------|-------------|-----|------|-----|------|-----|-----------------|---------|-------|--|-----------------------------|--|-------------------------|--|-------------------------|--|-----------------------------------|--|--|------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 期 日 | 令和2年 8月5日（水） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教頭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目 的 | 信頼される学校づくりを目指し、組織的・機能的な学校経営の在り方を学ぶとともに、教頭としての関与の在り方や課題について考える。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会 場 | 倶知安町文化福祉センター 2F 公民館中ホール （ 問い合わせ先 後志教育研修センター 0136-22-1337 ） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 新学習指導要領実施における新たな学校づくりと教頭の役割【公開講義】 2. 信頼される学校づくりを目指す教頭の職務と課題① 【講義1】 3. 信頼される学校づくりを目指す教頭の職務と課題② 【講義2】 4. 研究協議及びグループによる実践交流（主に小中連携、その他学校課題） 【研究協議及び交流】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 程 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%;">10:30 10:40</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">11:50 12:50</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">13:30 13:40</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">14:20 14:40</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">15:45</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">開 講 式</td> <td style="text-align: center;">公開講義</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">昼 食</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">講義 1</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">休 憩</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">講義 2</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">休 憩</td> <td style="text-align: center;">研究協議及び交流</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">全 体 交 流</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">閉 講 式</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新学習指導要領実施における新たな学校づくりと教頭の役割</td> <td></td> <td>目指す教頭の職務と課題を信頼される学校づくりを</td> <td></td> <td>目指す教頭の職務と課題を信頼される学校づくりを</td> <td></td> <td>研究協議及びグループによる実践交流（主に小中連携、その他学校課題）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">会場：倶知安町文化福祉センター</td> </tr> </table> | | 10:30 10:40 | | 11:50 12:50 | | 13:30 13:40 | | 14:20 14:40 | | 15:45 | 開 講 式 | 公開講義 | 昼 食 | 講義 1 | 休 憩 | 講義 2 | 休 憩 | 研究協議及び交流 | 全 体 交 流 | 閉 講 式 | | 新学習指導要領実施における新たな学校づくりと教頭の役割 | | 目指す教頭の職務と課題を信頼される学校づくりを | | 目指す教頭の職務と課題を信頼される学校づくりを | | 研究協議及びグループによる実践交流（主に小中連携、その他学校課題） | | | 会場：倶知安町文化福祉センター | | | | | | | | | |
| | 10:30 10:40 | | 11:50 12:50 | | 13:30 13:40 | | 14:20 14:40 | | 15:45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開 講 式 | 公開講義 | 昼 食 | 講義 1 | 休 憩 | 講義 2 | 休 憩 | 研究協議及び交流 | 全 体 交 流 | 閉 講 式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 新学習指導要領実施における新たな学校づくりと教頭の役割 | | 目指す教頭の職務と課題を信頼される学校づくりを | | 目指す教頭の職務と課題を信頼される学校づくりを | | 研究協議及びグループによる実践交流（主に小中連携、その他学校課題） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場：倶知安町文化福祉センター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講 師 | ◎ 久米 達夫（古平町立古平中学校 教頭） 植松 真将（小樽市立手宮中央小学校 教頭） ◇外部講師 後志教育局義務教育指導班 主査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 持参品など | ・ 学校運営に係る資料 （学校経営計画や月別学校運営計画、関与計画、小中連携に係わる資料） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

③教職員のカリキュラム・マネジメント 研修講座

より良い学校づくりを目指して

| | | | | | | | |
|-------|--|-----------------------------------|--------|----------------------------------|--------|--------------------------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 7月10日 (金) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 変化の激しい時代の中、学校には一体となった組織的な力が求められている。それらを生かした教職員の経営参画の在り方や分掌間の連携について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター (Tel 0136-22-1337) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 各学校の組織の見直しと取り組みについて【講義】 2. 各学校の組織の見直しと取り組みの交流【演習】 3. 学校課題を解決するために【研究協議】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 13:50 | 14:10 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 講 義 各学校の組織の見直しと取り組みについて | 昼 食 | 演 習 各学校の組織の見直しと取り組みの交流 | 休 憩 | 研 究 協 議 学校課題を解決するために | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◎高橋 健悟 (倶知安町立倶知安小学校 主幹教諭) 村上 慎司 (余市町立西中学校 教頭) 山田 晃弘 (小樽市立稲穂小学校 主幹教諭) | | | | | | |
| 持参品など | 運営計画資料 (学校評価結果等 学校課題がわかるもの) | | | | | | |

④ 学級経営（基礎） 研修講座

基礎的な知識と技法を磨き、個と集団の確立を目指して

| | | | | | | | |
|-------|---|-------|-------|-------------|-------|---------------------|-------|
| 期 日 | 令和2年 9月15日（火） | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 学級成員一人一人の個性を生かすとともに、相互承認し合える段階まで学級を高め、意欲的に集団活動できる望ましい学級経営の在り方について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 神恵内村立神恵内小学校（TEL 0135-76-5206） | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 望ましい学級集団づくり、児童生徒理解のための 具体的な方法とその活用 【講義・演習】 2. 話し合い活動の公開授業 【公開授業】 3. 公開授業の研究協議、実態交流・実践交流 【研究協議・交流】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| 開 講 式 | 講義・演習 | | 昼 食 | 公開授業 | 休 憩 | 研究協議・交流 | 閉 講 式 |
| | 望ましい学級集団づくり、児童生徒理解のための具体的な方法とその活用 | | | 話し合い活動の公開授業 | | 公開授業の研究協議、実態交流・実践交流 | |
| | 会場：神恵内村立神恵内小学校 | | | | | | |
| 講 師 | ◎松本 浩文（倶知安町立倶知安中学校 教諭） 熊谷 結香（神恵内村立神恵内小学校 教諭） | | | | | | |
| 持参品など | <ul style="list-style-type: none"> ・学級通信 ・初任段階教員は大歓迎です。 | | | | | | |

⑤ 学級経営（応用） 研修講座

教育相談と生徒指導の充実を目指して

| | | | | | | | |
|-------|---|-----------------------------------|------------|--|------------|--|-------------|
| 期 日 | 令和2年 9月8日（火） | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 児童生徒が安心できる集団づくりを目指した学級経営の在り方について研修する。～事例研修を通して～ | | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター （Tel 0136-22-1337） | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 小学校・中学校の学級経営の実際 【講義】 2. 参加者が直面している学級経営上の課題 【演習・交流1】 3. 学級経営の視点で見た小中連携の在り方 【演習・交流2】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 講 義 小学校・中学校の 学級経営の実際 | 昼 食 | 演 習 ・ 交 流 1 参加者が直面してい る学級経営上の課題 | 休 憩 | 演 習 ・ 交 流 2 学級経営の視点で 見た小中連携の在 り方 | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◎藤島 徹哉（余市町立東中学校 教諭） 浅井 貴広（蘭越町立蘭越小学校 教諭） | | | | | | |
| 持参品など | 交流で話題にしたい課題や事例を準備して下さい。 （資料の作成は必要ありません） | | | | | | |

⑥ 校内研修 研修講座

全員参加の校内研修を目指して

| | | | | | | | |
|-------|---|---|--------|---------------------------------------|--------|-------------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 6月10日(水) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 校内研修の充実を目指し、日常の授業実践を踏まえた組織的・計画的な校内研修の在り方について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター (TEL 0136-22-1337) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 研究主題解決のための研究仮説や研究計画の立て方、 まとめ方と次年度へのつなげ方【講義1】 2. 「学びに向かう力」NITSを使った研修パッケージの提案 【講義2・演習】 3. 各校の校内研修の現状と課題の交流【交流】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 講義1 研究主題解決のための研究仮説や研究計画の立て方、まとめ方と次年度へのつなげ方 | 昼 食 | 講義2・演習 「学びに向かう力」NITSを使った研修パッケージの提案 | 休 憩 | 交 流 各校の校内研修の現状と課題の交流 | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◇ 後志教育研修センター所員 | | | | | | |
| 持参品など | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自校の研修計画、校内研修資料を持参してください。 ・ 校内研究についてのこれまでの取組の成果・課題、経過が記述されたもの（前年度の研究集録など） | | | | | | |

⑦ 特別支援教育 研修講座

はじめての特別支援教育

| | | | | | | | | |
|-------------|--|------------------------------|----------------------------|--------|-------------------------------|------------------------------|-------------|------------------------------|
| 期 日 | 令和2年 6月17日(水)・7月17日(金) | | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | | |
| 目 的 | 初めて特別支援学級を担当される方や特別支援教育に興味のある方を対象に特別支援教育の基礎・基本について研修する。 | | | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター (TEL 0136-22-1337) | | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 参加各校の事例交流 (グループごと) 【オリエンテーション】 2. 小学校(特性に応じた手立て) 【講義1】 3. 小学校における特別支援教育 【講義2】 4. 中学校における特別支援教育 【講義3】 5. 特別支援教育におけるICTの活用 【公開講義】 6. ワークショップ(自立活動) 【演習】 7. 交流・発表 【発表】 | | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | |
| | 第 一 日 | 開 講 式 | オリエンテーション 参加各校の 事例交流 | 昼 食 | 講義1 小学校 (特性に応じ た手立て) | 講義2 小学校にお ける特別支 援教育 | 休 憩 | 講義3 中学校にお ける特別支 援教育 |
| 第 二 日 | 10:30 | 11:50 | | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | |
| | 第 二 日 | 公開講義 特別支援教育における ICTの活用 | | 昼 食 | 演習 ワークショップ (自立活動) | 休 憩 | 発表 交流・発表 | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◎田村 裕子 (岩内町立岩内西小学校 教諭) 中川 綾子 (仁木町立銀山中学校 教諭) 織田 美香 (倶知安町立西小学校樺山分校 教諭) ◇外部講師 高橋 健 氏 (石狩市立花川小学校 教諭) | | | | | | | |
| 持参品など | ・1日目 事例交流に必要な資料(学級経営案、学級通信、自作教材など)があればご持参ください。 ・2日目 なし | | | | | | | |

⑧ 幼保小の連携 研修講座

幼児教育の充実と幼保小の連携を目指して

| | | | | | | | | |
|-------|--|---------------------------------|-----------------------------|--------|-----------------|--------|--------------------------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 7月31日 (金) | | | | | | | |
| 対 象 者 | 幼稚園教職員 保育所保育士 小学校教職員 | | | | | | | |
| 目 的 | 幼児の発達について理解を深め、小学校での実践を共有し、相互の教育内容や教育実践の交流を通して円滑な接続のための連携の在り方について研修する。 | | | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター (Tel 0136-22-1337) | | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. スタートカリキュラム、幼保小連携【講義1】 2. 意欲的に遊ぶ幼児の姿から【講義2】 3. 実践・実態交流【実践交流】 4. のびのびと集団生活・社会生活を送るために【公開講義】 | | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 13:50 | 14:10 | 15:45 | |
| | 開 講 式 | 講義1 スタート カリキュラム、 幼保小連携 | 講義2 意欲的に遊 ぶ幼児の姿 から | 昼 食 | 実践交流 実践・実態交流 | 休 憩 | 公開講義 のびのびと集団生 活・社会生活を送 るために | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◎芳川 美知代(岩内町立岩内西小学校 教諭) 西岡 知洋(北海道キリスト教学園 リタ幼稚園 園長) ◇外部講師 中黒 麗子 氏 (医療法人社団 一視同仁会 札幌・すがた医院 作業療法士) | | | | | | | |
| 持参品など | できれば、実践例や一日入学のしおり、幼保小連携資料などをご持参下さい。 | | | | | | | |

⑨ 学校と地域をつなぐ社会教育 研修講座

学校や社会教育事業で活用できるグループワークを学びましょう！

| | | | | | | |
|-------|---|-------------------|----------------------------|--------|------------------|-------|
| 期 日 | 令和2年 6月30日 (火) | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校教職員 市町村教育委員会職員 | | | | | |
| 目 的 | 子どもたちの自己肯定感を高めるグループワークの手法を学ぶとともに、学校と社会教育の連携の在り方について研修する。 | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター (Tel 0136-22-1337) | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 子どもたちの自己肯定感を高めるには【公開講義】 2. 学校での活動や社会教育事業で活用できるグループワーク (演習) 【公開講義】 (学校や社会教育の各種事業で使えるグループワークの手法について学びます) 3. 学校教育と社会教育の連携について【交流】 | | | | | |
| 日 程 | 13:30 | 13:40 | 14:10 | 15:15 | 15:30 | 16:30 |
| | 開 | 公開講義 | | 休 憩 | 交 流 | 閉 |
| | 講 | 講 義 | 演 習 | | 学校教育と社会教育の連携について | 講 式 |
| | 式 | 子どもたちの自己肯定感を高めるには | 学校での活動や社会教育事業で活用できるグループワーク | | | |
| 講 師 | <input checked="" type="checkbox"/> 講座運営委員 後志教育研修センター所員 <input type="checkbox"/> 講座運営協力員 後志教育局社会教育指導班 <input type="checkbox"/> 外部講師 北海道立生涯学習推進センター職員 (予定) | | | | | |
| 持参品など | ※ 体を動かす活動を行いますので、動きやすい服装でご参加ください。 ※ 学校支援地域本部や地域学校協働活動に参画されておられる方々のご参加も可能です。 | | | | | |

⑩ 学習指導（授業づくり）

研修講座

教師も子どもも明日の授業が楽しみになる1単位時間の授業づくり

| | | | | | | | |
|-------|--|--|--------|--|--------|--|-------------|
| 期 日 | 令和2年 6月16日（火） | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 学習指導の充実を目指し、1単位時間の授業づくりの基本的な在り方や方法について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 会場校は後日連絡します。 | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 1単位時間の授業づくり【講義・交流】 ①育成すべき資質・能力 ②交流場面の充実 ③学習規律 ※小中連携を意識した参加者同士の交流を含む 2. 授業実践研究【授業実践】 3. ワークショップ型研究協議、センター所員による実践紹介 【研究協議・実践紹介】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 講義・交流 1単位時間の授業 づくり ①育成すべき資質・能力 ②交流場面の充実 ③学習規律 | 昼 食 | 授 業 実 践 授 業 実 践 研 究 | 休 憩 | 研 究 協 議 ・ 実 践 紹 介 ワ ー ク シ ョ ッ プ 型 研 究 協 議 セ ン タ ー 所 員 に よ る 実 践 紹 介 | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◇後志教育研修センター所員 | | | | | | |
| 持参品など | 初任段階教員は大歓迎です。 | | | | | | |

⑪ 学習指導（授業改善） 研修講座

児童・生徒の学ぶ意欲を高める授業を目指し

| | | | | | | | |
|-------|--|---------------------------------------|--------|--------------------|--------|---------------------------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 9月2日（水） | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 学習指導の充実を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導方法や単元構成の在り方について研修する。 ※ 今年度は特に主体的に学びに向かう力に重点を置きます。 | | | | | | |
| 会 場 | 会場校は後日連絡します。 | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について 【講義】 2. 授業実践研究【授業実践】 3. 授業についての話し合い（ワークショップ型）【研究協議及び交流】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 講義 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について | 昼 食 | 授業実践 授業実践研究 | 休 憩 | 研究協議及び交流 授業についての話し合い（ワークショップ型） | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◇ 後志教育研修センター所員 | | | | | | |
| 持参品など | 講師が日頃の実践で使用している授業づくりに役立つ素材データを差し上げます。 ぜひUSBメモリをお持ちください。 | | | | | | |

⑫ 国語科 研修講座

※本研修講座の2日目午後からは、潮見台小公開研究会と兼ねて行います。

新学習指導要領の趣旨を生かした授業づくり

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|-------------------------------------|-------------------|---------------------|-----------------|---------------------|------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------------------|-------------------|-----|-----------------|-----|------------------|--|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|-------------------|-----|---------------------|-----|---------------------|------------------------|--|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 期 日 | 令和2年 9月4日(金)・ 11月9日(月) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目 的 | 国語科指導の充実を目指し、子ども一人ひとりの個性を生かし、学ぶ意欲を育む指導の在り方について研修する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会 場 | (1日目)：後志教育研修センター (TEL 0136-22-1337) (2日目)：小樽市立潮見台小学校 (TEL 0134-23-9251) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修の内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 新学習指導要領における国語科の趣旨と方向性について【公開講義1】 2. 指導案作りについて【講義1】 3. 指導案作成、交流【演習】 4. 実践上の悩み交流【実践交流】 5. 「書く」の実践交流【講義2】 6. 潮見台小学校公開研【授業実践】 7. 研究協議、交流【研究協議】 8. 講演(潮見台小学校公開研究会：水戸部修治氏)【公開講義2】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 程 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">10:30</td> <td style="width: 10%;">10:40</td> <td style="width: 10%;">11:30</td> <td style="width: 10%;">11:50</td> <td style="width: 10%;">12:50</td> <td style="width: 10%;">14:10</td> <td style="width: 10%;">14:30</td> <td style="width: 10%;">15:45</td> </tr> <tr> <td>第 一 日</td> <td>開 講 式</td> <td>公開講義 1 新学習指導要領における国語科の趣旨と方向性について</td> <td>講義 1 指導案作りについて</td> <td>昼 食</td> <td>演 習 指導案作成、交流</td> <td>休 憩</td> <td colspan="2">実践交流 実践上の悩み交流</td> </tr> <tr> <td colspan="9" style="text-align: center;">会場：後志教育研修センター</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10:30</td> <td></td> <td>11:50</td> <td>13:15</td> <td>14:00</td> <td>14:15</td> <td>15:10</td> <td>16:40</td> </tr> <tr> <td>第 二 日</td> <td></td> <td>講義 2 「書く」の実践交流</td> <td>昼 食</td> <td>授業実践 潮見台小公開研と兼ねて</td> <td>休 憩</td> <td>研究協議 潮見台小公開研と兼ねて</td> <td>公開講義 2 講演 水戸部修治氏</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9" style="text-align: center;">会場：小樽市立潮見台小学校</td> </tr> </table> | | | | | | | | 10:30 | 10:40 | 11:30 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | 第 一 日 | 開 講 式 | 公開講義 1 新学習指導要領における国語科の趣旨と方向性について | 講義 1 指導案作りについて | 昼 食 | 演 習 指導案作成、交流 | 休 憩 | 実践交流 実践上の悩み交流 | | 会場：後志教育研修センター | | | | | | | | | | 10:30 | | 11:50 | 13:15 | 14:00 | 14:15 | 15:10 | 16:40 | 第 二 日 | | 講義 2 「書く」の実践交流 | 昼 食 | 授業実践 潮見台小公開研と兼ねて | 休 憩 | 研究協議 潮見台小公開研と兼ねて | 公開講義 2 講演 水戸部修治氏 | | 会場：小樽市立潮見台小学校 | | | | | | | | |
| | 10:30 | 10:40 | 11:30 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第 一 日 | 開 講 式 | 公開講義 1 新学習指導要領における国語科の趣旨と方向性について | 講義 1 指導案作りについて | 昼 食 | 演 習 指導案作成、交流 | 休 憩 | 実践交流 実践上の悩み交流 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場：後志教育研修センター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 10:30 | | 11:50 | 13:15 | 14:00 | 14:15 | 15:10 | 16:40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第 二 日 | | 講義 2 「書く」の実践交流 | 昼 食 | 授業実践 潮見台小公開研と兼ねて | 休 憩 | 研究協議 潮見台小公開研と兼ねて | 公開講義 2 講演 水戸部修治氏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場：小樽市立潮見台小学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講 師 | <p>◎原田 美穂子(留寿都村立留寿都中学校 教諭) 田中 あけみ(小樽市潮見台小学校 教諭) 中軽米 真智子(積丹町立日司小学校 教諭)</p> <p>◇講演 水戸部 修治氏(京都女子大学発達教育学部教育学科 教授)</p> <p>◇外部講師 後志教育局義務教育指導班指導主事</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 持参品など | <ul style="list-style-type: none"> ・1日目 新学習指導要領、担当学年の教科書 ・2日目 「書く」における交流のための資料(ワークシートや作文、詩など、日常の取り組みがわかるもの) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

⑬ 社会科

研修講座

主体的・対話的な学びを通じた思考力等の育成

| | | | | | | | | |
|-----------------------|--|---------------------------------------|------------------------------|--------------------------------|--------|-----------------------------|--------|------------------------------------|
| 期 日 | 令和2年 7月 1日(水)・8月25日(火) | | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | | |
| 目 的 | 社会科指導の充実を目指し、自ら学ぶ意欲と多面的・多角的な見方・考え方を育てる指導のあり方について研修する。 | | | | | | | |
| 会 場 | (1日目)：倶知安町立倶知安中学校 (TEL 0136-22-0192) (2日目)：後志教育研修センター (TEL 0136-22-1337) | | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 授業づくり(指導案の説明)【演習1】 2. 小中連携を意識した授業づくり【授業実践】 3. ワークショップ型研究協議【研究協議】 4. 社会科における小中連携(地図帳の活用)【演習2】 5. 新学習指導要領における社会科の趣旨と方向性について【公開講義】 6. 二学期に活用できる指導案づくり①【演習3】 7. 二学期に活用できる指導案づくり②【演習4】 | | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 第 一 日 式 | 開 講 式 | 演習1 授業づくり (指導案の 説明) | 授業実践 小中連携を意 識した授業づ くり | 昼 食 | 研究協議 ワークショップ型 研究協議 | 休 憩 | 演習2 社会科における小 中連携 (地図帳の活用) |
| 会場：倶知安町立倶知安中学校 | | | | | | | | |
| 第 二 日 | 10:30 | 11:50 | | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | 閉 講 式 |
| | 第 二 日 | 公開講義 新学習指導要領における社会 科の趣旨と方向性について | 昼 食 | 演習3 二学期に活用でき る指導案づくり① | 休 憩 | 演習4 二学期に活用でき る指導案づくり② | | |
| 会場：後志教育研修センター | | | | | | | | |
| 講 師 | ◎ 宇野 嘉純 (小樽市立長橋小学校 主幹教諭) 高橋 大樹 (真狩村立御保内小学校 教諭) 小山 正博 (倶知安町立倶知安中学校 教諭) ◇外部講師 後志教育局義務教育指導班指導主事 | | | | | | | |
| 持参品など | 社会科の教科書、地図帳、副読本 | | | | | | | |

⑭ 算数・数学科 研修講座

主体的に子どもが学ぶ単元構成の工夫

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|-------------------------------|-------------------|-------------------|---|--|-------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------------|-------------------------------|--------|-------------------|--------|--|--|---------------------|--|--|--|--|--|--|--|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|--|----------------------------------|--------|-------------------|--------|---|--|--|---------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 期 日 | 令和2年 5月20日(水)・ 8月31日(月) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目 的 | 新学習指導要領を踏まえた算数・数学の授業の在り方について研修する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会 場 | (1日目) : 小樽市立銭函小学校 (TEL 0134-62-2004) (2日目) : 京極町立京極中学校 (TEL 0136-42-2160) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 単元構成の作り方、指導案検討【講義1】 2. 授業実践【授業実践1】 3. ワークショップ型研究協議および交流、単元計画作成演習 【研究協議および交流1・演習1】 4. 指導案検討、実践交流、演習【講義2・演習2】 5. 授業実践【授業実践2】 6. ワークショップ型研究協議および交流【研究協議および交流2・演習3】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 程 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">10:30</td> <td style="width: 10%;">10:40</td> <td style="width: 10%;">11:50</td> <td style="width: 10%;">12:50</td> <td style="width: 10%;">14:10</td> <td style="width: 10%;">14:30</td> <td style="width: 10%;">15:45</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第 一 日</td> <td style="text-align: center;">開 講 式</td> <td style="text-align: center;">講義1 単元構成の作り 方、指導案検討</td> <td style="text-align: center;">昼 食</td> <td style="text-align: center;">授業実践1 授業実践</td> <td style="text-align: center;">休 憩</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">研究協議および 交流1・演習1 ワークショップ型研 究協議および交流、 単元計画作成演習</td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">会場：小樽市立銭函小学校</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第 二 日</td> <td style="text-align: center;">10:30</td> <td style="text-align: center;">11:50</td> <td style="text-align: center;">12:50</td> <td style="text-align: center;">14:10</td> <td style="text-align: center;">14:30</td> <td style="text-align: center;">15:45</td> <td style="text-align: center;">閉 講 式</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">講義2・演習2 指導案検討、実践交流、 演習</td> <td style="text-align: center;">昼 食</td> <td style="text-align: center;">授業実践2 授業実践</td> <td style="text-align: center;">休 憩</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">研究協議および 交流2・演習3 ワークショップ型研 究協議および交流</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">会場：京極町立京極中学校</td> </tr> </table> | | | | | | | | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | 第 一 日 | 開 講 式 | 講義1 単元構成の作り 方、指導案検討 | 昼 食 | 授業実践1 授業実践 | 休 憩 | 研究協議および 交流1・演習1 ワークショップ型研 究協議および交流、 単元計画作成演習 | | 会場：小樽市立銭函小学校 | | | | | | | | 第 二 日 | 10:30 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | 閉 講 式 | | 講義2・演習2 指導案検討、実践交流、 演習 | 昼 食 | 授業実践2 授業実践 | 休 憩 | 研究協議および 交流2・演習3 ワークショップ型研 究協議および交流 | | | 会場：京極町立京極中学校 | | | | | | | |
| | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第 一 日 | 開 講 式 | 講義1 単元構成の作り 方、指導案検討 | 昼 食 | 授業実践1 授業実践 | 休 憩 | 研究協議および 交流1・演習1 ワークショップ型研 究協議および交流、 単元計画作成演習 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場：小樽市立銭函小学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第 二 日 | 10:30 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | 閉 講 式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 講義2・演習2 指導案検討、実践交流、 演習 | 昼 食 | 授業実践2 授業実践 | 休 憩 | 研究協議および 交流2・演習3 ワークショップ型研 究協議および交流 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場：京極町立京極中学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講 師 | ◎菊地 勇人 (京極町立京極中学校 教諭) 新川 志帆 (赤井川村立都小学校 教諭) 佐藤 充 (小樽市立銭函小学校 教諭) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 持参品など | 単元計画作成のための教科書及び資料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

⑮ 理 科 研修講座

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

| | | | | | | | |
|-----------------------|--|-------------|---------------------------------------|--------|---------------------------------------|-------------|----------------------------|
| 期 日 | 令和2年 7月8日(水)・8月24日(月) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 理科指導の充実を目指し、実感を伴った理解につながるような問題解決学習の在り方について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | (1日目) : 神恵内村立神恵内中学校 (Tel 0135-76-5301) (2日目) : 後志教育研修センター (Tel 0136-22-1337) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 理科教育の今日的な話題について①【講義1】 2. 授業実践【公開授業】 3. 研究協議(ワークショップ型)【研究協議】 4. 理科教育の今日的な話題について②【講義2】 5. 授業や科学クラブ等で使える実験(演習)①【公開講義1】 6. 授業や科学クラブ等で使える実験(演習)②【公開講義2】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 第 一 日 式 | 開 講 式 | 講義1 理科教育の今日的な 話題について① | 昼 食 | 公開授業 授業実践 | 休 憩 | 研究協議 研究協議 (ワークショップ型) |
| 会場：神恵内村立神恵内中学校 | | | | | | | |
| 第 二 日 | 10:30 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | |
| | 講義2 理科教育の今日的な話題 について② | 昼 食 | 公開講義1 授業や科学クラブ 等で使える実験 (演習)① | 休 憩 | 公開講義2 授業や科学クラブ 等で使える実験 (演習)② | 閉 講 式 | |
| 会場：後志教育研修センター | | | | | | | |
| 講 師 | ◎ 柴田 倫克 (倶知安町立西小学校 教諭) 志村 勝 (神恵内村立神恵内中学校 教諭) 川向 俊之 (小樽市立長橋中学校 教諭) ◇ 外部講師 北海道立教育研究所附属理科教育センター研究研修主事 (2日目) | | | | | | |
| 持参品など | 2日目：白衣、エプロン等(実験用) | | | | | | |

①⑥ 英語科 研修講座

新学習指導要領に向けた授業改善を目指して

| | | | | | | | |
|-------|---|-----------------------------------|-------|-------------------------------|-------|---------------------------------|-------|
| 期 日 | 令和2年 6月9日(火)・10月13日(火) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 新学習指導要領の全面実施に向けた授業づくりについて研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | (1日目) : 後志教育研修センター (TEL 0136-22-1337) (2日目) : 岩内町立岩内第一中学校 (TEL 0135-62-0333) | | | | | | |
| 研修の内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 新学習指導要領における英語科の趣旨と方向性について【公開講義】 2. アクティブ・ラーニングの視点からの授業づくり【演習】 3. 参加者による実践紹介と交流【交流1】 4. 英語科授業公開【授業実践】 5. ワークショップ型研究協議【研究協議】 6. 小学校外国語科(外国語活動)との連携について【交流2】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| 第 一 日 | 開 式 | 公開講義 新学習指導要領における英語科の趣旨と方向性について | 昼 食 | 演 習 アクティブ・ラーニングの視点からの授業づくり | 休 憩 | 交 流 1 参加者による実践紹介と交流 | |
| | 会場：後志教育研修センター | | | | | | |
| 第 二 日 | 授 業 実 践 | 英語科授業公開 | 昼 食 | 研 究 協 議 ワークショップ型研究協議 | 休 憩 | 交 流 2 小学校外国語科(外国語活動)との連携について | 閉 講 式 |
| | 会場：岩内町立岩内第一中学校 | | | | | | |
| 講 師 | ◎小林 民治 (仁木町立仁木中学校 教諭) 鈴木 梨沙 (岩内町立岩内第一中学校 教諭) 山崎 史朗 (小樽市立菁園中学校 教諭) ◇外部講師 後志教育局義務教育指導班指導主事 | | | | | | |
| 持参品など | (1日目) 日常の授業実践資料を20部ほど持参してください。 (2日目) 小中連携に関わる資料等があれば持参してください。 | | | | | | |

⑰ 外国語・外国語活動（初級）研修講座

気軽に取り組める外国語・外国語活動 ～小中を通じて身につけるべき力とは～

| | | | | | | | | |
|-------|---|---|--------|----------------------|--------|----------------------------|------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 9月 1日（火） | | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | | |
| 目 的 | 外国語・外国語活動に対する苦手意識を軽減し、日常的に使える授業づくりの研修 | | | | | | | |
| 会 場 | 黒松内町立黒松内小学校（Tel 0136-72-3023） | | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 新学習指導要領における外国語科・外国語活動の指導の重点及び評価の在り方【公開講義】 2. 小中連携に向けた活動の実践例【講義】 3. 授業実践「子どもたちを飽きさせない授業実践」【授業実践】 4. 研究協議及び交流【研究協議】 | | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 13:55 | 14:15 | 15:00 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 公開講義 新学習指導要領における外国語科・外国語活動の指導の重点及び評価の在り方 | 昼 食 | 講義 小中連携に向けた活動の実践例 | 休 憩 | 授業実践 「子どもたちを飽きさせない授業実践」 | 研究協議 研究協議及び交流 | 閉 講 式 |
| | 会場：黒松内町立黒松内小学校 | | | | | | | |
| 講 師 | ◎山田 徹（黒松内町立黒松内小学校 教諭） 菊地 洋平（蘭越町立蘭越中学校 教諭） ◇外部講師 後志教育局義務教育指導班指導主事 | | | | | | | |
| 持参品など | 担当している学年の教科書（小学校） | | | | | | | |

⑱ 外国語・外国語活動（中級）

研修講座

児童がより理解できる外国語・外国語活動の授業づくりについて

| | | | | | | | | |
|-------|--|-------|-------------------------|--------|-------------|--------|----------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 6月19日（金） | | | | | | | |
| 対 象 者 | 小学校教職員 中学校英語科教諭 | | | | | | | |
| 目 的 | 担任主体で授業をするために、クラスルームイングリッシュ等について実践的に研修する。 | | | | | | | |
| 会 場 | 古平町立古平小学校（Tel 0135-42-2138） | | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 新学習指導要領における外国語科の小中連携の在り方【公開講義】 2. 小学校外国語授業（新教科書）に向けての実践演習 （中1の4月からの授業改善を通して）【演習】 3. 新教科書を活用した授業【授業実践】 4. 授業についての協議・意見交流【研究協議】 | | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:30 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 公開講義 | 演習 | 昼 食 | 授業実践 | 休 憩 | 研究協議 | 閉 講 式 |
| | 新学習指導要領における外国語科の小中連携の在り方 | | 小学校外国語授業（新教科書）に向けての実践演習 | | 新教科書を活用した授業 | | 授業についての協議・意見交流 | |
| | 会場：古平町立古平小学校 | | | | | | | |
| 講 師 | ◎ 秋田 匡（古平町立古平小学校 教諭） 村上 慈（積丹町立美国中学校 教諭） ◇外部講師 後志教育局義務教育指導班指導主事 | | | | | | | |
| 持参品など | 小学校 新教科書 | | | | | | | |

⑱ 道徳科 研修講座

教科書を用いた道徳科の授業づくり

| | | | | | | | |
|-------|--|--|--------|------------------------------|--------|---|-------------|
| 期 日 | 令和2年 9月 7日 (月) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 教科書を用いた道徳科の授業づくりと評価の在り方について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 岩内町立岩内第一中学校 (TEL 0135-62-0333) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1.道徳科の授業づくり (小学校・中学校)、道徳科の評価【講義】 2.授業公開【授業実践】 3.授業実践を受けた協議 (ワークショップ型)、道徳科に関する質疑応答 【研究協議】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 12:25 | 13:25 | 14:15 | 14:25 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 講 義 道徳科の授業づくり (小学校・中学校)、道徳科の評価 | 昼 食 | 授 業 実 践 授業公開 | 休 憩 | 研 究 協 議 授業実践を受けた協議 (ワークショップ型)、道徳科に関する質疑応答 | 閉 講 式 |
| | 会場：岩内町立岩内第一中学校 | | | | | | |
| 講 師 | ◎ 齋藤 直哉 (小樽市立朝里小学校 教諭) 野口 貴史 (積丹町立野塚小学校 教諭) 山本 啓太 (岩内町立岩内第一中学校 教諭) | | | | | | |
| 持参品など | | | | | | | |

②〇 音楽科 研修講座

音楽科指導の充実を目指して

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|------------|--------|------------------|--------|-------------|-------------|-------|-------|------|-------------|------|--------|-----|--------|-----|-------------|--------------|--|------------|--|------------------|--|-------------|--|---------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 期 日 | 令和2年 7月 6日 (月) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目 的 | 音楽科指導の充実を目指し、指導の在り方について研修する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会 場 | 京極町立京極小学校 (Tel 0136-42-2273) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 「表現」に関わっての授業【授業実践】 2. 実践授業に対する協議【研究協議】 3. リコーダーの基本的な指導について【演習1】 4. 歌唱実技講習及び座談会【演習2】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 程 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">10:30</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">11:15</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">11:25</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">11:50</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">12:50</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">14:10</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">14:30</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">15:45</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">授業実践</td> <td style="text-align: center;">開 講 式</td> <td style="text-align: center;">研究協議</td> <td style="text-align: center;">昼 食</td> <td style="text-align: center;">演習1</td> <td style="text-align: center;">休 憩</td> <td style="text-align: center;">演習2</td> <td style="text-align: center;">閉 講 式</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="vertical-align: top;">「表現」に関わっての授業</td> <td colspan="2" style="vertical-align: top;">実践授業に対する協議</td> <td colspan="2" style="vertical-align: top;">リコーダーの基本的な指導について</td> <td colspan="2" style="vertical-align: top;">歌唱実技講習及び座談会</td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">会場：京極町立京極小学校</td> </tr> </table> | 10:30 | 11:15 | 11:25 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | 授業実践 | 開 講 式 | 研究協議 | 昼 食 | 演習1 | 休 憩 | 演習2 | 閉 講 式 | 「表現」に関わっての授業 | | 実践授業に対する協議 | | リコーダーの基本的な指導について | | 歌唱実技講習及び座談会 | | 会場：京極町立京極小学校 | | | | | | | |
| 10:30 | 11:15 | 11:25 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業実践 | 開 講 式 | 研究協議 | 昼 食 | 演習1 | 休 憩 | 演習2 | 閉 講 式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 「表現」に関わっての授業 | | 実践授業に対する協議 | | リコーダーの基本的な指導について | | 歌唱実技講習及び座談会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場：京極町立京極小学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講 師 | ◎白井 尚史 (余市町立東中学校 主幹教諭) 佐々木 いずみ (京極町立京極小学校 教諭) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 持参品など | リコーダー (ソプラノまたはアルト) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

②1 保健体育科 研修講座

実践力の向上を目指して

| | | | | | | | |
|-------|---|-------------------------------|--------|------------------------------|--------|-------------------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 8月 7日 (金) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 保健体育科の指導の充実を目指し、個性を生かし、心身ともに健康で運動に親しむ態度を育てる望ましい指導の在り方について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 小樽市立桜町中学校 (Tel 0134-54-6505) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 体づくり運動・陸上運動【実技及び交流1】 2. 球技 ベースボール型【実技及び交流2】 3. 器械運動 マット運動等【実技及び交流3】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 実技及び交流1 体づくり運動 陸上運動 | 昼 食 | 実技及び交流2 球技 ベースボール型 | 休 憩 | 実技及び交流3 器械運動 マット運動等 | 閉 講 式 |
| | 会場：小樽市立桜町中学校 | | | | | | |
| 講 師 | ◎ 柴田 寛士 (小樽市立桜町中学校 主幹教諭) 小原 いつか (赤井川村立赤井川小学校 教諭) 齋藤 一真 (倶知安町立倶知安中学校 教諭) | | | | | | |
| 持参品など | ・運動できる服装、運動靴 | | | | | | |

②② I C T 研修講座

ICTの活用とプログラミング教育の授業づくりを目指して

| | | | | | | | | |
|-------|--|-------------|-------------------------|--------|--|--------|---|-------------|
| 期 日 | 令和2年 7月30日 (木) | | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | | |
| 目 的 | プログラミング教育の考え方と実際の授業づくり。タブレットなどのICTの活用について。 | | | | | | | |
| 会 場 | 余市町立沢町小学校 (Tel 0135-22-3941) | | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 授業でのICT活用とプログラミング教育の考え方【講義】 2. ICTの授業での活用の実際 ～小中学校でのタブレット (iPadなど) の活用～ 【演習1】 3. プログラミング的思考を取り入れた授業の実際 ～プログラミング教材の体験～ 【演習2】 | | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 | |
| | 第 一 日 | 開 講 式 | 講 義 | 昼 食 | 演 習 1 | 休 憩 | 演 習 2 | 閉 講 式 |
| | | | 授業でのICT活用とプログラミング教育の考え方 | | ICTの授業での活用の実際 ～小中学校のタブレット (iPadなど) の活用～ | | プログラミング的思考を取り入れた授業の実際 ～プログラミング教材の体験～ | |
| | 会場：余市町立沢町小学校 | | | | | | | |
| 講 師 | ◎ 小西 淳樹 (余市町立黒川小学校 主幹教諭) 齋藤 賢一 (余市町立沢町小学校 教諭) | | | | | | | |
| 持参品など | | | | | | | | |

②③ 学 校 保 健 研修講座

学校保健の今日的な課題解決を目指して

| | | | | | | | |
|-------|---|-------------------------|--------|------------------------|--------|--|-------------|
| 期 日 | 令和2年 7月 13日 (月) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 養護教諭 | | | | | | |
| 目 的 | 学校保健の充実を目指し、一人ひとりの子どもたちが今当面する諸問題を取り上げ、その望ましい指導の在り方について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター (TEL 0136-22-1337) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 日常執務の充実を目指して【講義1】 2. 日々の実践から思うこと【講義2】 3. 講演「おもちゃを通して子どもたちについて考える」(仮題)【公開講義】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:45 | 12:45 | 13:50 | 14:00 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 講義1 日常執務の充実を 目指して | 昼 食 | 講義2 日々の実践から思う こと | 休 憩 | 公開講義 講演 「おもちゃを通し て子どもたちにつ いて考える」(仮 題) | 閉 講 式 |
| | 会場：倶知安町文化福祉センター | | | | | | |
| 講 師 | ◎鎌田 由美 (余市町立東中学校 養護教諭) 中村 眞美 (小樽市立幸小学校 養護教諭) ◇外部講師 杉本 英樹 氏 (小樽市 ハンズオントーイ キンダーリーブ 店長) | | | | | | |
| 持参品など | | | | | | | |

②④ 学 校 事 務 研修講座

さらなる「学校づくり」をすすめるために

| | | | | | | | |
|-------|--|--------------------------------|--------|--|--------|--------------------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 5月22日 (金) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 事務職員 | | | | | | |
| 目 的 | 学校事務の改善・充実を目指し、日常の取り組みをもとに意欲的な学校事務を推進していくための学びの機会とする。 | | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター (TEL 0136-22-1337) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 学校財政財務活動の具体的展開【研究協議】 2. 「日常実践」から私たちの学校事務を考える【演習】 3. 私の考える「学校事務」とは？【意見交流】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 研究協議 学校財政財務活動の 具体的展開 | 昼 食 | 演習 「日常実践」から 私たちの学校事務 を考える | 休 憩 | 意見交流 私の考える「学校 事務」とは？ | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◎ 岩井 健太 (余市町立東中学校 事務職員) 和田 知也 (京極町立京極中学校 事務職員) | | | | | | |
| 持参品など | 日常実践をすすめるために自分自身が作成した資料 (運営計画や学校配分予算案、事務だより、各種提案文書) をご用意下さい。なお、必要部数については後日、参加者にお知らせ致します。併せて、持参した資料について簡単にお話をさせていただく予定です。 | | | | | | |

②⑤ へき地・複式教育 研修講座

一人ひとりが主体的に学びに向かう授業づくりを目指して

| | | | | | | | |
|-------|---|--|--------|------------------------------|--------|--|-------------|
| 期 日 | 令和2年 6月23日 (火) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 小規模校の特性を生かした学習指導の在り方について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | ニセコ町立近藤小学校 (Tel 0136-44-2852) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1.小規模校の特性を生かした授業づくり(複式教育の概要) 【講義】 2.授業公開【授業実践】 3.授業実践をうけて【研究協議及び交流】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 講 義 小規模校の特性を生かした授業づくり (複式教育の概要) | 昼 食 | 授 業 実 践 授業公開 | 休 憩 | 研 究 協 議 及 び 交 流 授業実践をうけて | 閉 講 式 |
| | 会場：ニセコ町立近藤小学校 | | | | | | |
| 講 師 | ◎高橋 一弘 (ニセコ町立近藤小学校 教諭) 金澤 保弘 (積丹町立余別小学校 教諭) | | | | | | |
| 持参品など | | | | | | | |

IV 専門性を高める講座

②⑥ 食 育 研修講座

望ましい食習慣の定着を目指して

| | | | | | | | |
|-------|--|-------------------------------------|--------|-------------------------|--------|--|-------------|
| 期 日 | 令和2年 7月 29日 (水) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校栄養教諭 栄養職員 栄養士 小中学校教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 食に関わる指導の充実を目指し、児童生徒の健全な食習慣を育む望ましい指導の在り方について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 共和町立学校給食センター (TEL 0135-73-2267) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. スチームコンベクションを使用した献立について (実習) 【公開講義】 2. 食育の授業実践をDVDで視聴【DVD視聴】 3. 研究協議、まとめ、各校の食育の取り組みの交流【研究協議及び交流】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 公開講義 スチームコンベクションを使用した献立について (実習) | 昼 食 | DVD視聴 食育の授業実践をDVDで視聴 | 休 憩 | 研究協議 及び交流 研究協議、まとめ、各校の食育の取り組みの交流 | 閉 講 式 |
| | 会場：共和町立学校給食センター | | | | | | |
| 講 師 | ◎岩本 美奈子 (倶知安町立倶知安小学校 栄養教諭) 中邨 瑛子 (共和町立東陽小学校 栄養教諭) ◇外部講師 遠藤 晋一郎 氏 (ニチワ電機札幌営業所長) | | | | | | |
| 持参品など | 白衣、帽子、靴、マスク、検便検査結果表、 食に関する指導資料 (全体計画、年間指導計画、指導案、献立表、給食だより) | | | | | | |

②7 書 写 実 技 研修講座

みんなで解決、書写指導の悩み

| | | | | | | | |
|-------|--|--------------------|--------|--------------------|--------|----------------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 8月 6日 (木) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 書写に関する基礎的な知識や技能を習得するとともに、思考力・判断力・表現力を高める指導の在り方について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター (TEL 0136-22-1337) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 美しい楷書の書き方【実技研修1】 2. 美しい行書の書き方【実技研修2】 3. 子どもの作品の見方、授業実践交流【交流】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 実技研修1 美しい楷書の書き方 | 昼 食 | 実技研修2 美しい行書の書き方 | 休 憩 | 交 流 子どもの作品の見方、授業実践交流 | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◎惣万 大輝 (小樽市立朝里中学校 教諭) 秋元 雪 (小樽市立花園小学校 教諭) | | | | | | |
| 持参品など | <ul style="list-style-type: none"> ・書道セット ・筆記用具 ・新聞 (1、2部) ・当該学年の教科書 | | | | | | |

②8 読書活動 研修講座

豊かな学びを支える学校図書館

| | | | | | | | |
|-------|---|-------------------------------|--------|--|--------|---------------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 9月11日 (金) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校教職員 社会教育担当者 | | | | | | |
| 目 的 | 学校図書館機能についての理解を深め、豊かな学びを支える学校図書館活用について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター (TEL 0136-22-1337) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 探求的活動を支える学校図書館 【講義1・演習1】 2. 学校図書館司書がいる学校図書館 ～小・中図書委員会の連携～ 館内整備 【講義2・実技】 3. 学校図書館と地域連携 【講義3・演習2】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 講義1・演習1 探求的活動を支える 学校図書館 | 昼 食 | 講義2・実技 学校図書館司書 がいる学校図書館 ～小・中図書委員 会の連携～ 館内整備 | 休 憩 | 講義3・演習2 学校図書館と 地域連携 | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◎ 松林 純 (共和町立西陵小学校 教諭) 高木 妙子 (余市町立大川小学校 教諭) 渡邊 雅代 (小樽市立高島小学校 学校司書) | | | | | | |
| 持参品など | ・補修したい本 1冊 ・おすすめしたい本 1冊 | | | | | | |

②⑨ ものづくり 研修講座

手軽にできるものづくり

| | | | | | | | |
|-------|--|-------------------------------|--------|---|--------|----------------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 8月 18日 (火) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校 教職員 | | | | | | |
| 目 的 | 学校にある工具や道具等を正しく、かつ安全に使用することができるようにするとともに、手軽にできるものづくりについて研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 泊村立泊中学校 (Tel 0135-75-2203) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 工具の使い方等について【講義】 2. 木材加工・工具等に関する実践交流、木材加工実習【実践交流・実習1】 3. 木材加工実習【実習2】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 講 義 工具の使い方等につ いて | 昼 食 | 実 践 交 流 ・ 実 習 1 木材加工・工具等に 関する実践交流 木材加工実習① | 休 憩 | 実 習 2 木材加工実習② | 閉 講 式 |
| | 会場：泊村立泊中学校 | | | | | | |
| 講 師 | ◎小山 正幸 (小樽市立桜町中学校 教頭) 伊勢 淳佑 (泊村立泊中学校 教諭) | | | | | | |
| 持参品など | ・汚れてもよい服装 ・上靴 ・筆記用具 | | | | | | |

③⑩ 生活科・総合的な学習の時間

研修講座

探求的・協働的な学習指導の充実を目指して

| | | | | | | | |
|-------|---|---|--------|---|--------|------------------------|-------------|
| 期 日 | 令和2年 7月29日 (水) | | | | | | |
| 対 象 者 | 小中学校教職員 社会教育担当者 | | | | | | |
| 目 的 | 生活科・総合的な学習の時間の充実を目指し、自ら学ぶ意欲を育てる望ましい活動展開の在り方について研修する。 | | | | | | |
| 会 場 | 後志教育研修センター (TEL 0136-22-1337) | | | | | | |
| 研修の内容 | 1. 新学習指導要領における生活科・総合的な学習の時間の趣旨と方向性について【公開講義】 2. (1) 地域の教育資源を活用した実践 【講義】 (2) 総合的な学習の時間の小中連携例 【講義】 3. 各校の実践発表・交流【研究協議及び交流】 | | | | | | |
| 日 程 | 10:30 | 10:40 | 11:50 | 12:50 | 14:10 | 14:30 | 15:45 |
| | 開 講 式 | 公開講義 新学習指導要領における生活科・総合的な学習の時間の趣旨と方向性について | 昼 食 | 講義 (1) 地域の教育資源を活用した実践 (2) 総合的な学習の時間の小中連携例 | 休 憩 | 研究協議及び交流 各校の実践発表・交流 | 閉 講 式 |
| 講 師 | ◎宮川 脩平 (仁木町立仁木中学校 教諭) 土岐 龍大 (黒松内町立黒松内小学校 教諭) ◇外部講師 後志教育局義務教育指導班指導主事 | | | | | | |
| 持参品など | 小・中学校の授業の実践資料 (年間計画、指導案、ワークシートなど) あればご持参してください。 | | | | | | |

〈様式1〉 令和2年度 後志教育研修センター研修講座 受講申込書

【 学校・教育委員会 】

※講師の先生は、氏名の前に◎をつけて下さい。

〈様式1〉はHPからダウンロードできます。

| | 番号 | 講座名 | 小学校 | | 中学校 | |
|-------------------|----|-------------------|-----|----|-----|----|
| | | | 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
| I 学校・学級づくりの講座 | ① | 学校経営Ⅰ(校長) | | | | |
| | ② | 学校経営Ⅱ(教頭) | | | | |
| | ③ | 教職員のカリキュラム・マネジメント | | | | |
| | ④ | 学級経営(基礎) | | | | |
| | ⑤ | 学級経営(応用) | | | | |
| | ⑥ | 校内研修 | | | | |
| | ⑦ | 特別支援教育 | | | | |
| | ⑧ | 幼保小の連携 | | | | |
| | ⑨ | 学校と地域をつなぐ社会教育 | | | | |
| II 実践と授業づくりの講座 | ⑩ | 学習指導(授業づくり) | | | | |
| | ⑪ | 学習指導(授業改善) | | | | |
| | ⑫ | 国語科 | | | | |
| | ⑬ | 社会科 | | | | |
| | ⑭ | 算数・数学科 | | | | |
| | ⑮ | 理科 | | | | |
| | ⑯ | 英語科 | | | | |

| | 番号 | 講座名 | 小学校 | | 中学校 | |
|----------------------|----|-----------------------|-----|----|-----|----|
| | | | 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
| Ⅱ 実践と授業づくり の講座 | ⑰ | 外国語・外国語活動 (初 級) | | | | |
| | ⑱ | 外国語・外国語活動 (中 級) | | | | |
| | ⑲ | 道 徳 科 | | | | |
| Ⅲ 指導実技を高める 講座 | ⑳ | 音 楽 科 | | | | |
| | ㉑ | 保 健 体 育 科 | | | | |
| | ㉒ | I C T | | | | |
| Ⅳ 専門性を高める講座 | ㉓ | 学 校 保 健 | | | | |
| | ㉔ | 学 校 事 務 | | | | |
| | ㉕ | へき地・複式教育 | | | | |
| | ㉖ | 食 育 | | | | |
| | ㉗ | 書 写 実 技 | | | | |
| | ㉘ | 読 書 活 動 | | | | |
| Ⅴ 隔年開催 講座 | ㉙ | も の づ く り | | | | |
| | ㉚ | 生活科・総合的な 学 習 の 時 間 | | | | |

※半日日程(1日日程の場合)や1日日程(2日日程の場合)での申込み、また公開講義のみの受講も可能です。

| 公開 講義 | 講座名 | 氏名 | 所属(小) | 氏名 | 所属(中) |
|----------|-----|----|-------|----|-------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

※公開講義のみ受講希望される方は、この欄にご記入ください。

【ミニ道研】

| | 講座名 | 氏名 | 所属(小) | 氏名 | 所属(中) |
|------------------------------|------|----|-------|----|-------|
| ○ブロック 7月28日(火)教育局 | | | | | |
| ①授業づくりの基礎 | <午前> | | | | |
| ②生徒指導の機能を生かした学級 経営 | <午後> | | | | |
| ○単独 9月25日(金)センター | | | | | |
| ①教育相談を生かした児童生徒理解・ 保護者との協働 | <午前> | | | | |
| ②小・中学校におけるプログラミング 教育 | <午後> | | | | |

後志教育研修センター研修講座 講師

◎ 講座運営の中心となる先生

| No | 研修講座名 | 外部講師(公開講義) | | | | |
|----|---|--------------------------|-----------------------------|---------------|---------------------------------------|---|
| | | 1 | 2 | 3 | | |
| 1 | 学校経営Ⅰ (校長) | ◎藪 智樹(岩内二中) | 大坂 充(稲穂小) | ・ | 後志教育局義務教育指導監 | |
| 2 | 学校経営Ⅱ (教頭) | ◎久米 達夫(古平中) | 植松 真将(手宮中央小) | ・ | 後志教育局義務教育指導班主査 | |
| 3 | Ⅰ 学校・学級づくりの講座 | 教職員の カリキュラムマ ネジメント | ◎高橋 健悟(倶知安小) | 村上 慎司(西中) | 山田 晃弘(稲穂小) | |
| 4 | | 学級経営 (基礎) | 熊谷 結香(神恵内小) | ◎松本 浩文(倶知安中) | ・ | |
| 5 | | 学級経営 (応用) | 浅井 貴広(蘭越小) | ◎藤島 徹哉(東中) | ・ | |
| 6 | | 校内研修 | センター所員 | センター所員 | センター所員 | |
| 7 | | 特別支援 教育 | ◎田村 裕子(岩内西小) | 中川 綾子(銀山中) | 織田 美香(西小樺山分校) | 石狩市立花川小学校教諭 高橋 健 氏 |
| 8 | 幼保小の 連携 | ◎芳川 美知代(岩内西小) | 西岡 知洋 (北海道キリスト教学園 リタ幼稚園) | ・ | 医療法人社団 一視同仁会 札幌・すがた医院 作業療法士 中黒麗子 氏 | |
| 9 | 学校と地域を つなぐ 社会教育 | センター所員 | センター所員 | センター所員 | 道立生涯学習推進センター(招聘予定) | |
| 10 | Ⅱ 実践と授業づくりの講座 | 学習指導 (授業づくり) | センター所員 | センター所員 | センター所員 | |
| 11 | | 学習指導 (授業改善) | センター所員 | センター所員 | センター所員 | |
| 12 | | 国語科 | 中軽米 真智子(日司小) | ◎原田 美穂子(留寿都中) | 田中 あけみ(潮見台小) | 京都女子大学発達教育学部 教授 水戸部修治 氏 後志教育局義務教育指導班指導主事 |
| 13 | | 社会科 | 高橋 大樹(御保内小) | 小山 正博(倶知安中) | ◎宇野 嘉純(長橋小) | 後志教育局義務教育指導班指導主事 |
| 14 | | 算 数・ 数学科 | 新川 志帆(都小) | ◎菊地 勇人(京極中) | 佐藤 充(銭函小) | |
| 15 | | 理 科 | ◎柴田 倫克(倶知安西小) | 志村 勝(神恵内中) | 川向 俊之(長橋中) | 北海道立教育研究所附属理科センター研究研修主事 |
| 16 | | 英語科 | 鈴木 梨沙(岩内一中) | ◎小林 民治(仁木中) | 山崎 史朗(菁園中) | 後志教育局義務教育指導班指導主事 |
| 17 | | 外国語・外国語 活動(初級) | ◎山田 徹(黒松内小) | 菊地 洋平(蘭越中) | ・ | 後志教育局義務教育指導班指導主事 |
| 18 | | 外国語・外国語 活動(中級) | ◎秋田 匡(古平小) | 村上 慈(美国中) | ・ | 後志教育局義務教育指導班指導主事 |
| 19 | 道徳科 | 野口 貴史(野塚小) | 山本 啓太(岩内第一中) | ◎齋藤 直哉(朝里小) | | |
| 20 | Ⅲ 高 め る 講 座 を 実 践 す る 講 座 | 音楽科 | 佐々木 いずみ(京極小) | ◎白井 尚史(東中) | ・ | |
| 21 | | 保健体育科 | 小原 いつか(赤井川小) | 齋藤 一真(倶知安中) | ◎柴田 寛士(桜町中) | |
| 22 | | I C T | 齋藤 賢一(沢町小) | ◎小西 淳樹(黒川小) | ・ | |
| 23 | Ⅳ 専 門 性 を 高 め る 講 座 | 学校保健 | ◎鎌田 由美(余市東中) | 中村 眞美(幸小) | ・ | 小樽ハンズオントイ キンダーリーブ店長 杉本英樹 氏 |
| 24 | | 学校事務 | ◎岩井 健太(余市東中) | 和田 知也(京極中) | ・ | |
| 25 | | へき地複式 教育 | ◎高橋 一弘(近藤小) | 金澤 保弘(余別小) | ・ | |
| 26 | | 食 育 | ◎岩本 美奈子(倶知安小) | 中邨 瑛子(東陽小) | ・ | ニチワ電機札幌営業所長 遠藤晋一郎 氏 |
| 27 | | 書写実技 | ◎惣万 大輝(朝里中) | 秋元 雪(花園小) | ・ | |
| 28 | | 読書活動 | ◎松林 純(西陵小) | 高木 妙子(大川小) | 渡邊 雅代(高島小) | |
| 29 | Ⅴ 隔 年 開 催 講 座 | ものづくり | 伊勢 淳佑(泊中) | ◎小山 正幸(桜町中) | ・ | |
| 30 | | 生活科・総合的な 学習の時間 | 土岐 龍大(黒松内小) | ◎宮川 脩平(仁木中) | ・ | 後志教育局義務教育指導班指導主事 |

研修センターからのお知らせ

後志管内教職員夏季研修会 教育講演会

□令和2年度 第53回後志管内教職員夏季研修会(後志教育講演会)

期日 令和2年8月4日(火) 13:30~15:30

会場 倶知安町ホテル第一会館

講師 高橋義男氏(とまこまい脳神経外科 副院長兼小児脳神経外科部長)

演題 「渡る世間は嘘ばかり…」

—思考停止の世の中でどんどん増える発達障害, ストレス障害, 認知症…
6歳までが大事、思い込みの阻止とどう対応するか!—

教育資料室と新着図書など

教育資料室には、教育関係の図書・雑誌・視聴覚教材をはじめ、管内の学校から寄贈された研究紀要、道内外の教育関係機関の刊行物があります。図書はi-Pad 10台も含めて、貸し出しも行っております。

【令和2年度 新着図書】

- 『2019年改訂指導要録対応シリーズ学びを変える新しい学習評価文例編 新しい学びに向けた新指導要録・通知表(小学校・中学校)』 全5巻 田中耕治
- 『次代を創る「資質・能力」を育む学校づくり』吉富芳正編集
第一巻「社会に開かれた教育課程」と新しい学校づくり 第二巻「深く学ぶ」子供を育てる学級づくり・授業づくり 第三巻 教育課程とこれからの研究・研修
- 『育ちと学びをつなぐ「幼保小連携教育」の挑戦～実践接続期カリキュラム～』 木村義彦監修
- 『主体的・対話的で深い学びの環境とICT』 久保田賢一 今野貴之編著
- 『AI時代のリーダーになる子どもを育てる～慶應幼稚舎ICT教育の実践～』 鈴木二正
- 「小学生の英語絵ずかん」 ジェリー・ソーレス 監修・タッチ式でネイティブの英語の発音ができます
- 大型絵本(41cmx38cm)3冊 “What’s this?” ” A Beautiful Butterfly” ” What Can You Do?”



ICT 機器 ○ i-Pad(9.7インチ・128GB) 10台・貸し出しできます。

後志教育研修センター ホームページ

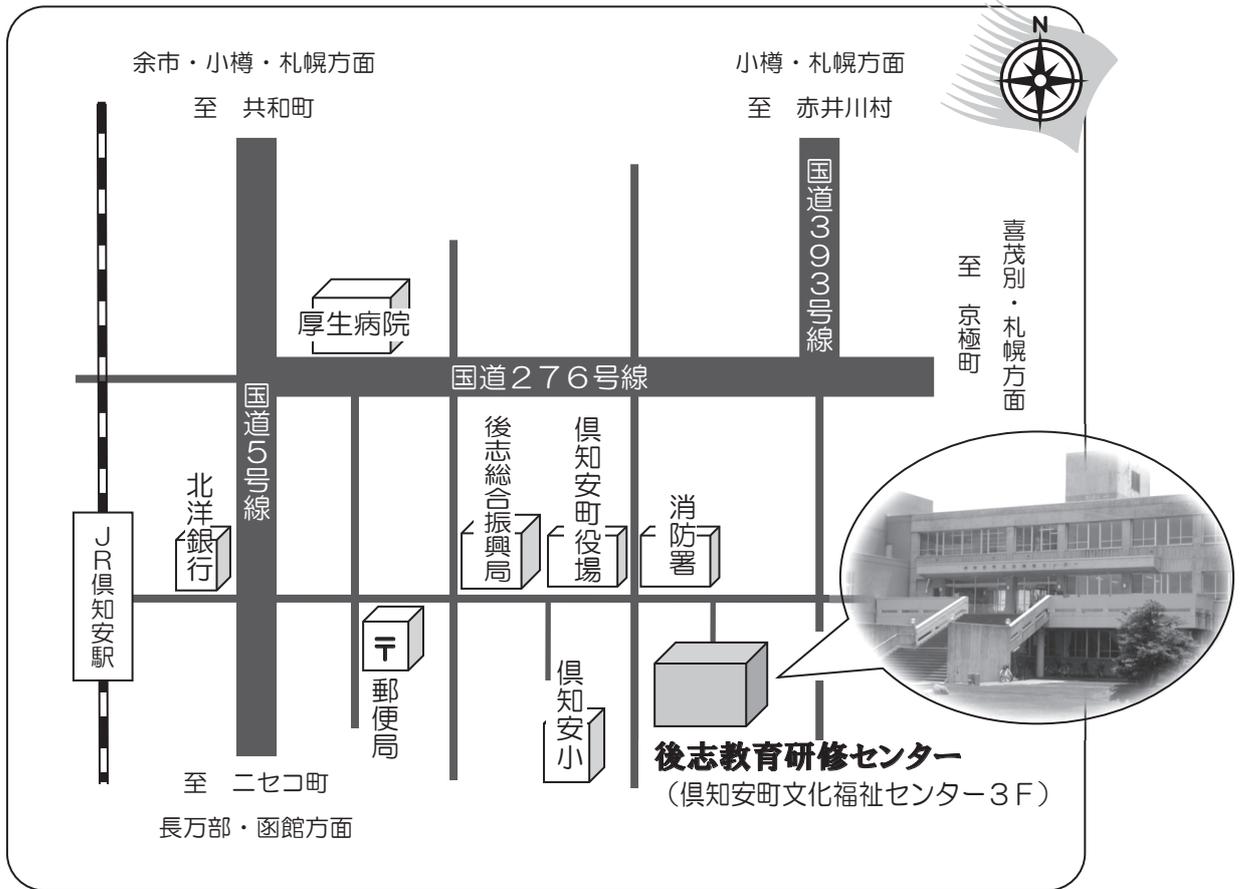


研修講座の案内、研究紀要のダウンロード、行事予定カレンダー、新着図書など新しい情報を発信していますので、ぜひご活用ください。

<http://www.shiribeshi-etc.jp/>

『後志教育研修センター』で検索

後志教育研修センター 交通アクセス



研修センター施設平面図



○研修講座が入っていない日の各種研修室は教育関係の会議、研修会等に無料で利用できます。予約は電話で受付しておりますので、事前に申し出ください。

○使用できる備品：電子黒板、スクリーン、プロジェクター、ノートパソコン、実物投影機、ホワイトボード、i-pad(10台)等